

議案第1号 令和3年度鯖江市一般会計予算

## ものづくり博覧会の代替事業は？

**説明** コロナ禍が収束するまでは集客イベントの開催は不可能との判断から、例年開催してきたものづくり博覧会の開催を白紙とし、代わりに、市内企業から要望が多かった、ウェブの活用方法、YouTubeでの情報発信、マーケティング手法などを専門家から学ぶ事業を企画した。

最終的にはオンライン展示会への出展につなげることで、市内産業の受注増につなげたい。

**問** これまで、ものづくり博覧会では、教育の一環として、市内中学生による博覧会の見学事業が行われてきた。教育に関する有意義な取組であったが、これについては継続すべきではないか。

**答** 昨年、ものづくり博覧会が中止になった際に、企業のものづくりの現場をJK課が取材し、その動画を、各中学校で視聴する事業を実施した。

新年度においても同事業を実施することで、中高生に対する、地場産業教育を継続していきたい。



中止となったものづくり博覧会

議案第1号 令和3年度鯖江市一般会計予算

## 除雪費 1億円増額の内訳は？

**問** 令和2年度に比べ、令和3年度の除雪費は約1億円の増額となっているが、その内訳は。

**答** 除雪協力業者への除雪委託回数を、実績を鑑みて予算計上し、5,000万円を増額。

さらに、今年1月の大雪の結果を踏まえ、古くなった除雪機器の更新と、除雪部の拡幅や通学路の除雪等を想定した、中型の乗用ロータリー車等の新規導入費用として、5,000万円を増額。合計1億円の増額とした。

**問** 除雪協力業者のオペレーター不足に対応するため、市道で除雪を行うための特殊な車両運転資格の取得を助成できないか。

**答** 除雪協力業者の確保と、地域ぐるみの除雪体制の整備のためにも、オペレーターが資格を取得しやすい補助制度の検討は必要と考える。国・県の動きも注視しつつ、鯖江市における制度づくりを検討していきたい。



除雪体制のより一層の整備を

議案第6号 令和3年度鯖江市水道事業会計予算

## 水道管の耐震化は進んでいる？

**問** 令和3年度の配水管耐震化の実施計画は。

**答** 令和2年度に引き続き、重要管路である、上水道管理センターから丹南病院への管路耐震化を行う計画で、西縦貫線の900メートル、工事費9,000万円を予定している。

**問** 重要管路以外の耐震化はどうなっているか。

**答** まずは、重要管路の耐震化を優先して行い、あわせて、一般管路に優先順位をつけて順次更新する。水道管の目標耐用年数を60年としており、これを超えないように更新していきたい。

**問** 古い配水管の中には、既に老朽化している管もあるのではないかと。それらの老朽管の更新は、計画的に行えるのか。

**答** 60年を超える老朽管もわずかに残存しており、順次更新を行いたい。令和10年度頃から老朽管が増加し始めるので、今後、更新のペースを速め、予算を平準化しつつ、計画的に更新を行っていきたい。



水道管の耐震化工事の様子